

**第3章**  
**子育て支援サービスの現状と**  
**今後の利用希望**



## 第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

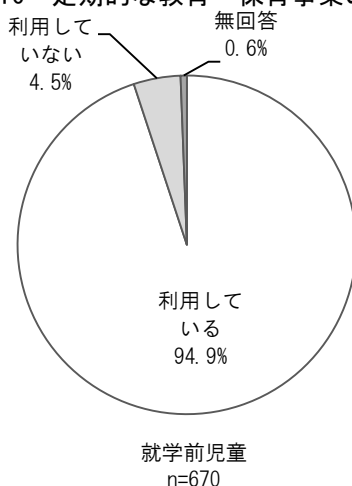
#### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

○定期的な教育・保育事業を「利用している」は94.9%となっています。

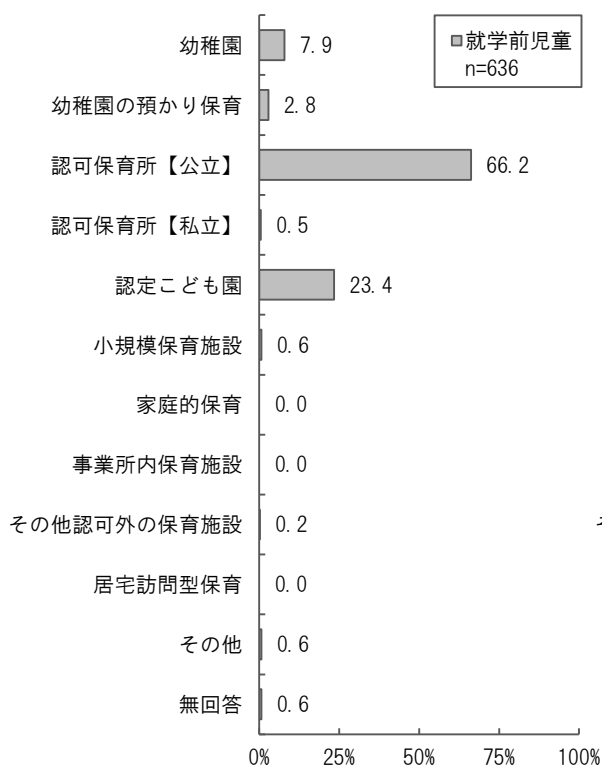
○利用中の事業をみると、「認可保育所【公立】」(66.2%)の割合が高くなっています。

また、最も希望する教育・保育事業においても、「認可保育所【公立】」(30.7%)の割合が高く、次いで「認定こども園」(15.1%)となっています。

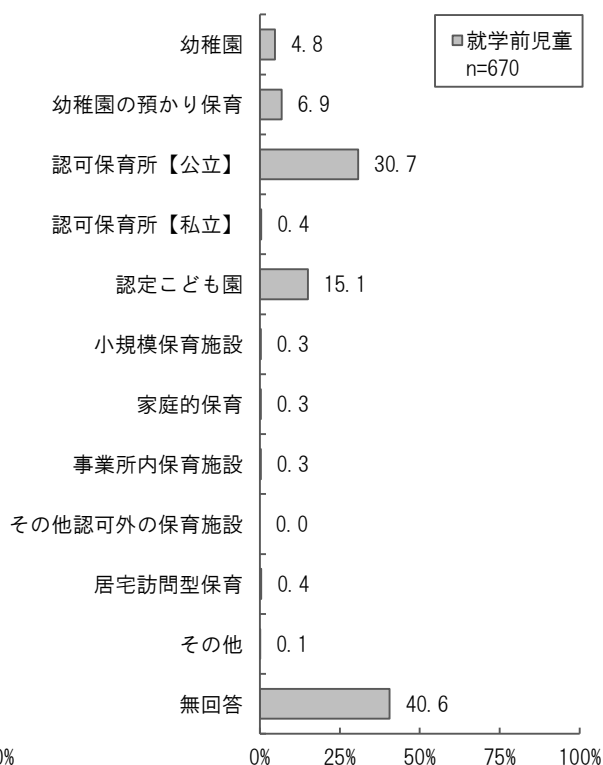
問16 定期的な教育・保育事業の利用状況



問16-1 定期的な教育・保育事業の利用状況



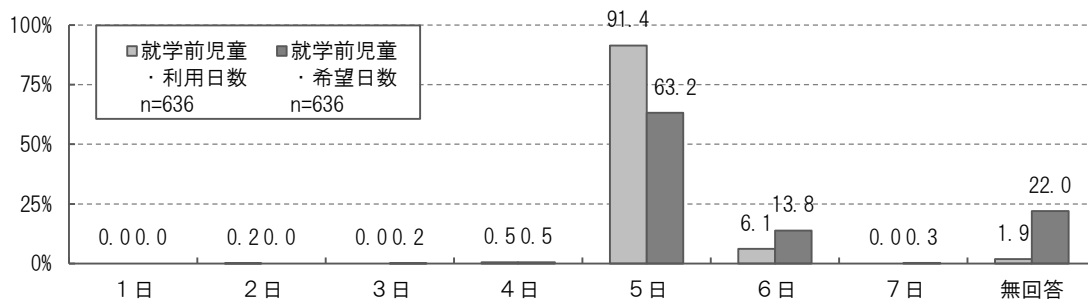
問17.1 最も希望する定期的な教育・保育事業



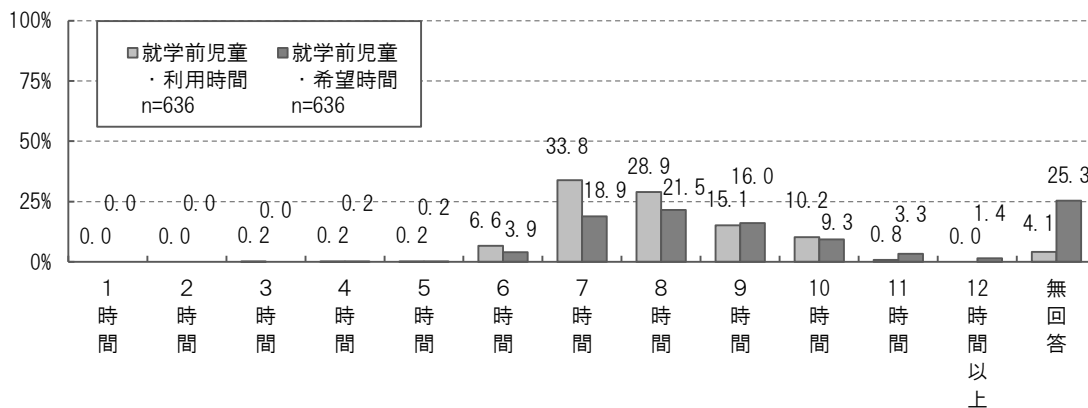
○定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数みると、利用日数・希望日数ともに「5日」(91.4%・63.2%)の割合が最も高く、次いで「6日」(6.1%・13.8%)となっています。

○利用時間と希望時間についてみると、利用時間では「7時間」(33.8%)の割合が最も高く、次いで「8時間」(28.9%)、希望時間では「8時間」(28.9%)の割合が最も高く、次いで「7時間」(18.9%)となっています。

問16-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)



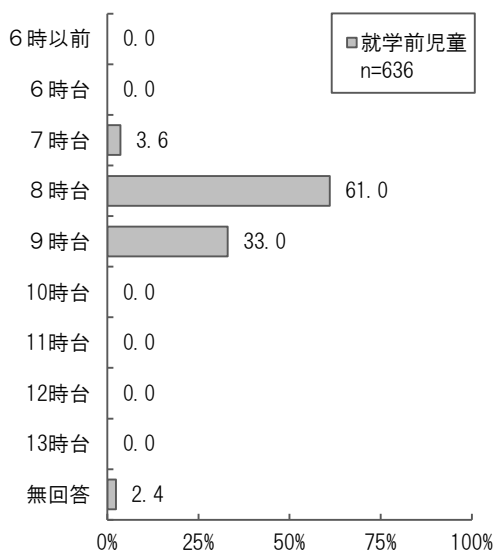
問16-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間(1日当たり)



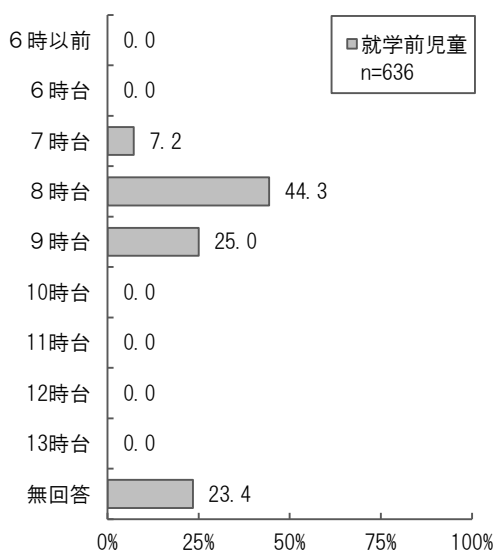
○利用開始時間・希望開始時間ともに「8時台」(61.0%・44.3%)の割合が最も高くなっています。

○利用終了時間・希望終了時間ともに「16時台~17時台」の割合が高くなっています。

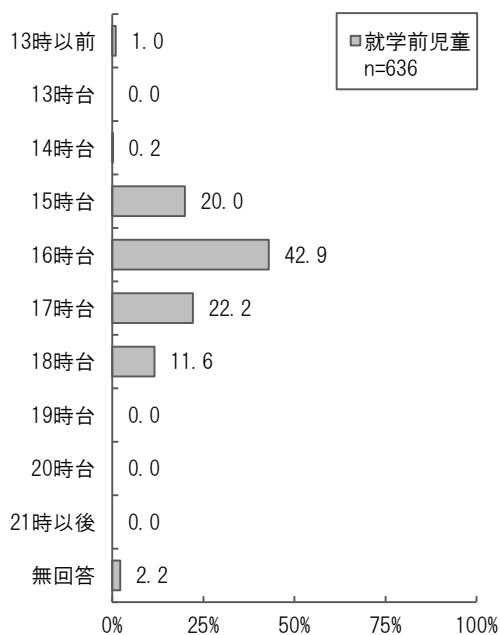
問16-2(1) 利用開始時間



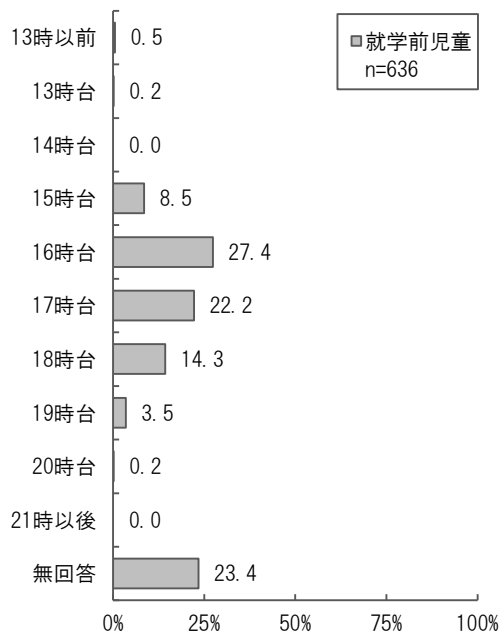
問16-2(2) 希望開始時間



問16-2(1) 利用終了時間



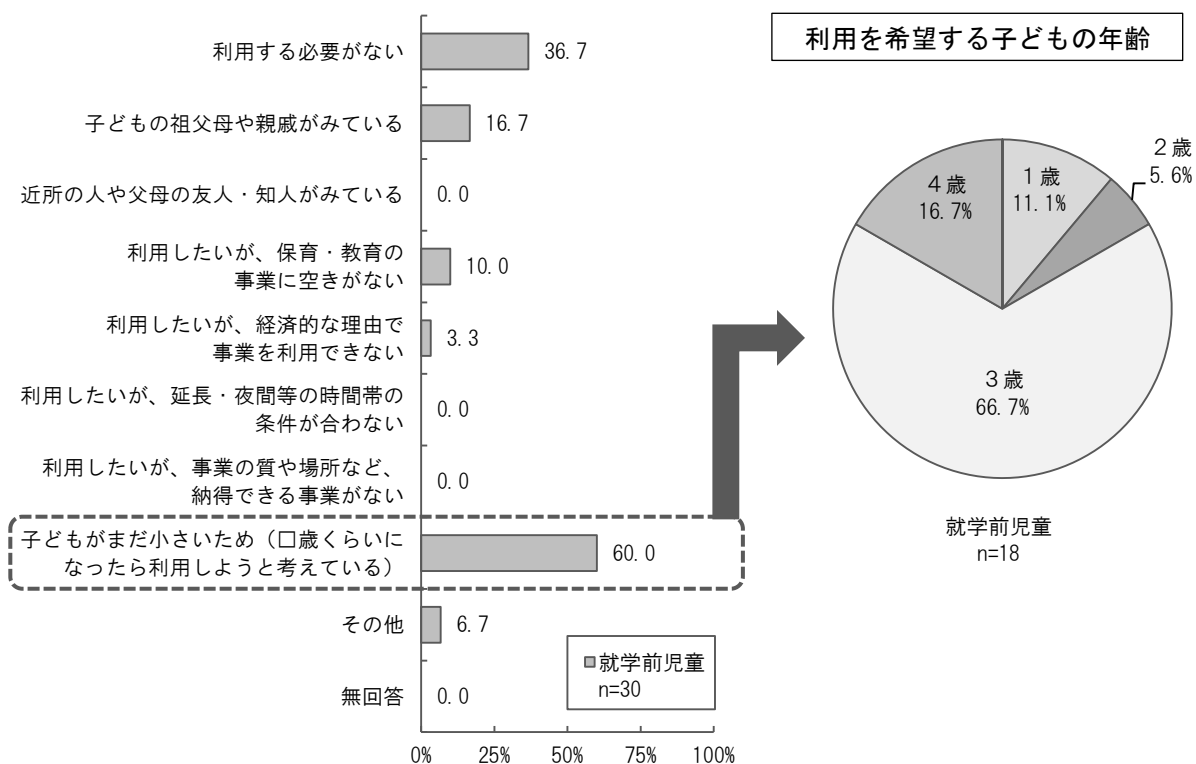
問16-2(2) 希望終了時間



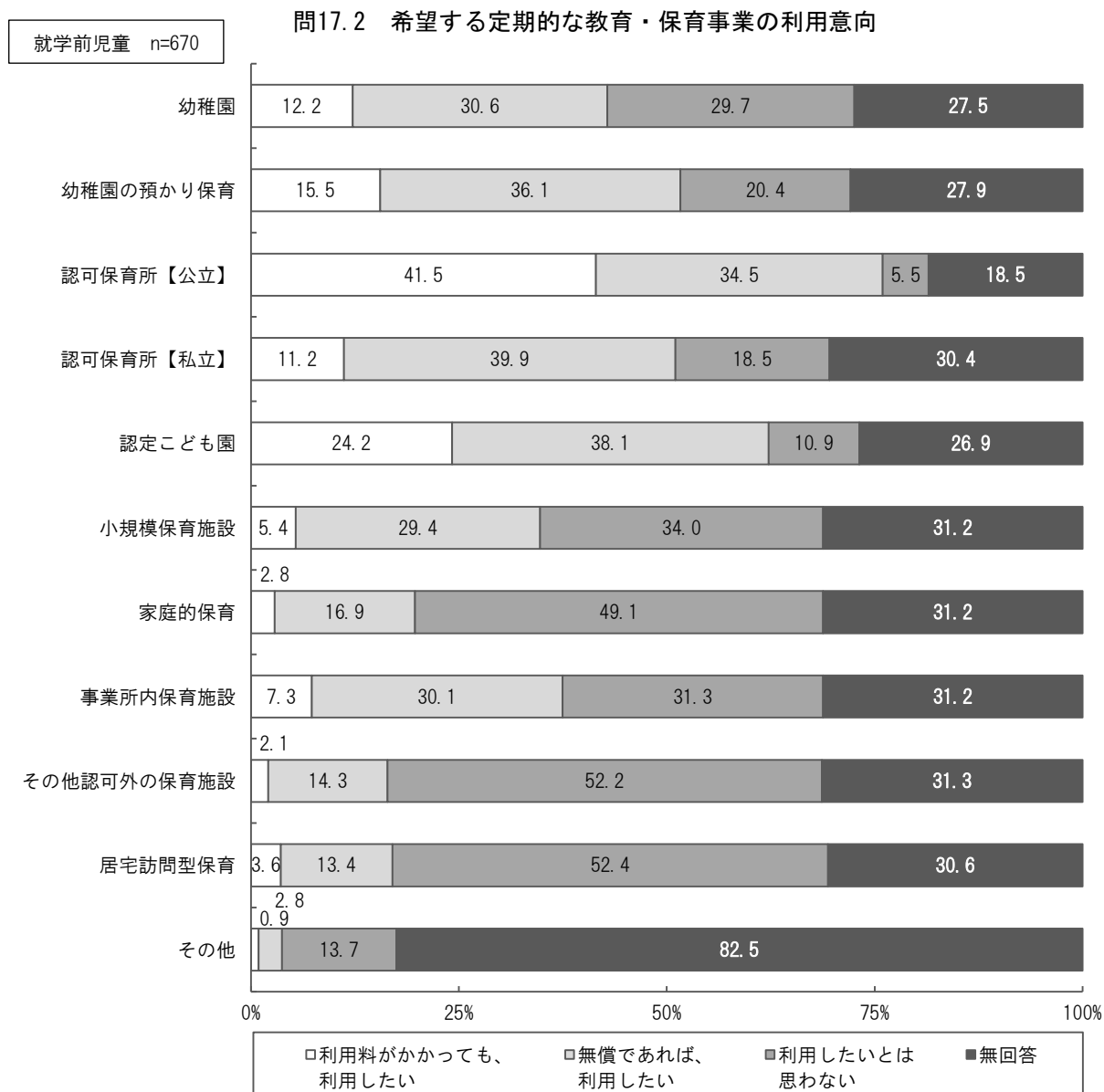
## (2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

- 定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」(60.0%)の割合が高くなっています。
- 「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方の教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢は、「3歳」(66.7%)の割合が最も高くなっています。

問16-3 教育・保育事業を利用していない理由

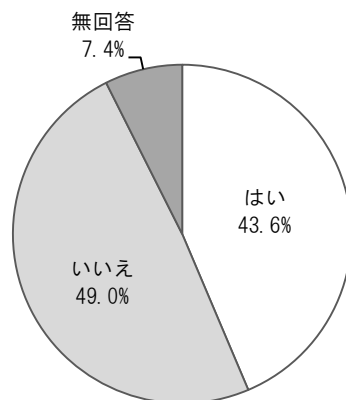


○希望する定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用料がかかっても、利用したい」と回答した事業は、『認可保育所【公立】』（41.5%）、『認定こども園』（24.2%）の割合が高くなっています。



○特に幼稚園の利用を強く希望しているかどうかでは、「はい」が43.6%、「いいえ」が49.0%となっています。

問17-1 特に幼稚園の利用を強く希望している



就学前児童  
n=337



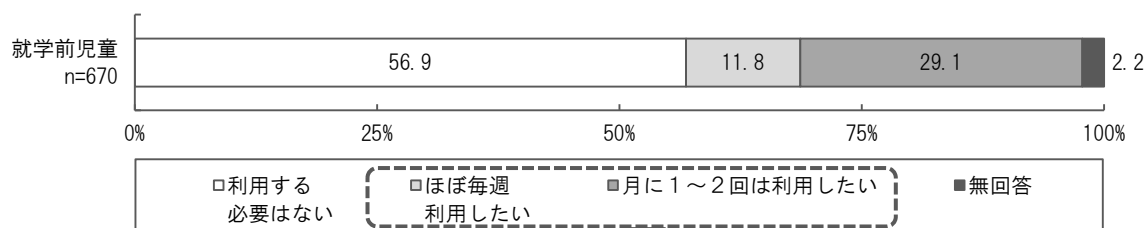
## 2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

### (1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

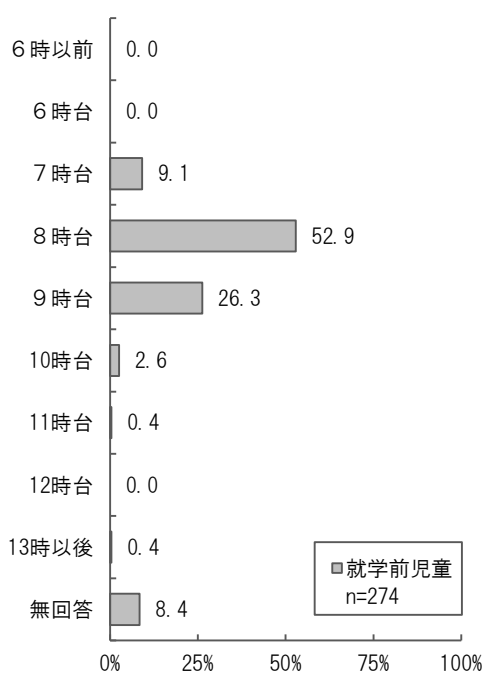
○土曜日の利用希望をみると、「月に1～2回は利用したい」が29.1%、「ほぼ毎週利用したい」が11.8%となっています。

○希望する時間帯をみると、希望開始時間は「8時台～9時台」、希望終了時間は「16時台～18時台」の割合が高くなっています。

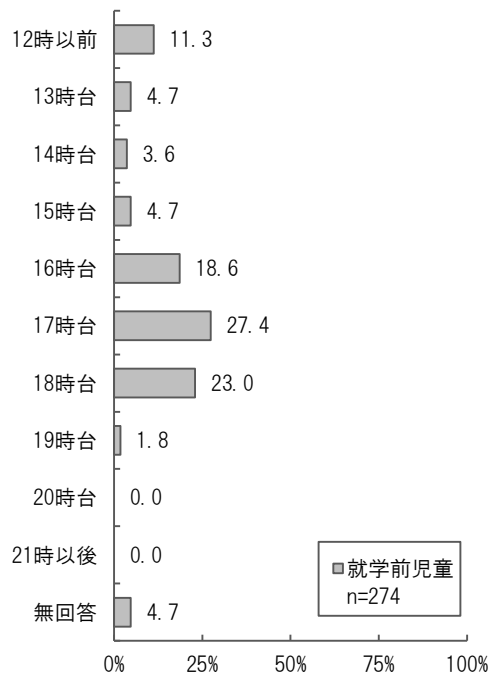
問21(1) 土曜日の利用希望



問21(1) 希望開始時間

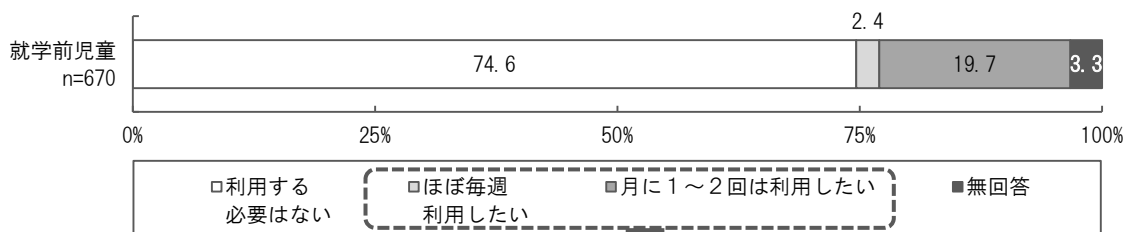


問21(1) 希望終了時間

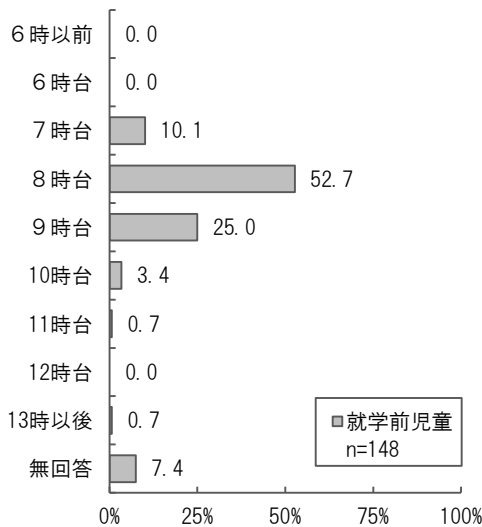


- 日曜・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が7割以上を占めるものの、19.7%の方が「月に1～2回は利用したい」と希望しています。また、「ほぼ毎週利用したい」と定期的な利用を希望している方は2.4%に留まっています。
- 利用を希望者する時間帯をみると、希望開始時間は「8時台～9時台」、希望終了時間は「17時台～18時台」の割合が高くなっています。
- 土曜日と日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」と回答した方の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(67.6%)の割合が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(24.4%)、「息抜きのため」(19.3%)となっています。

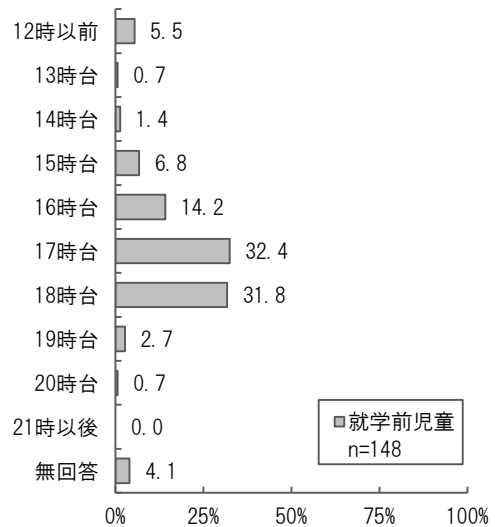
問21(2) 日曜・祝日の利用希望



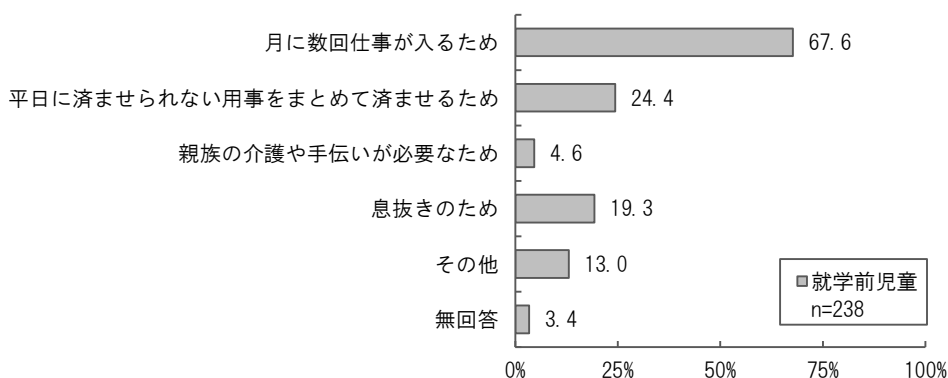
問21(2).1 希望開始時間



問21(2).1 希望終了時間



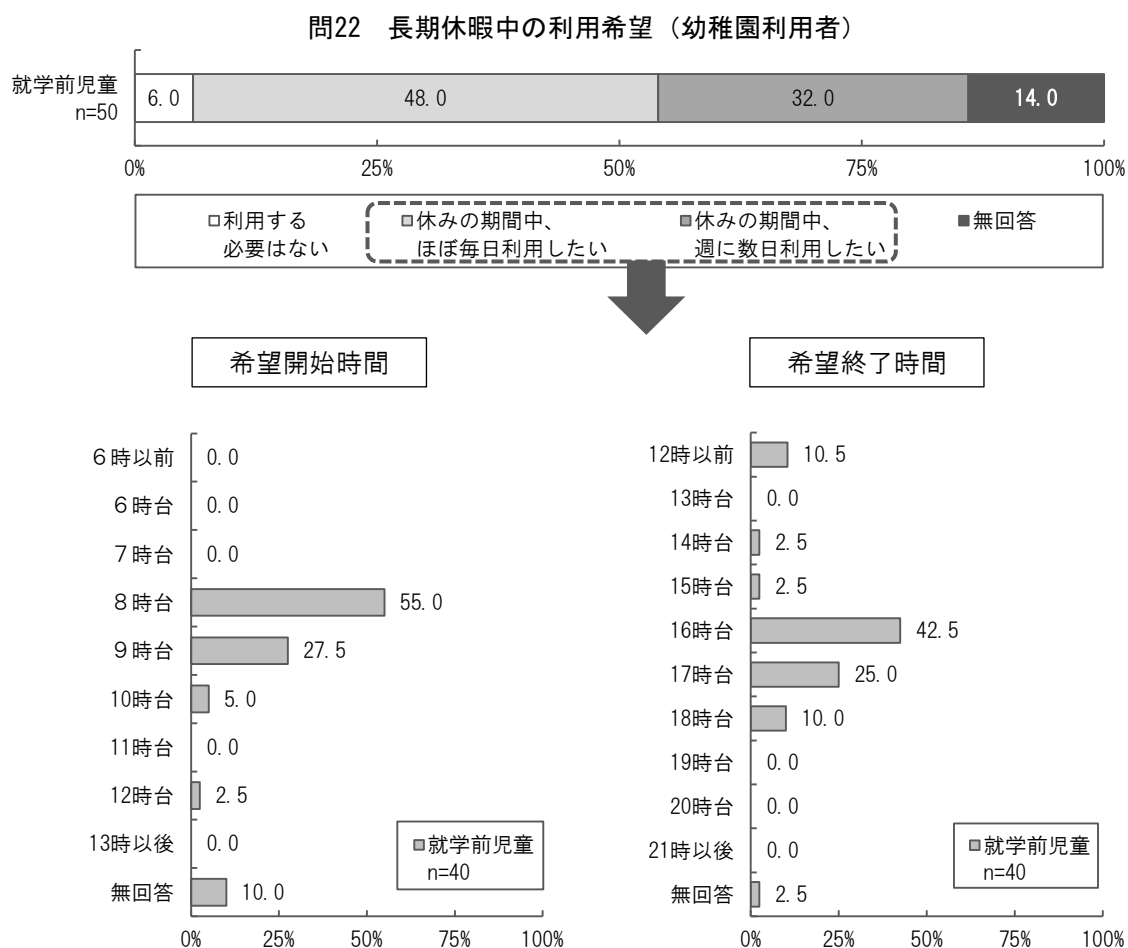
問21-1 毎週ではなく「月に1～2回利用したい」理由



## (2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）

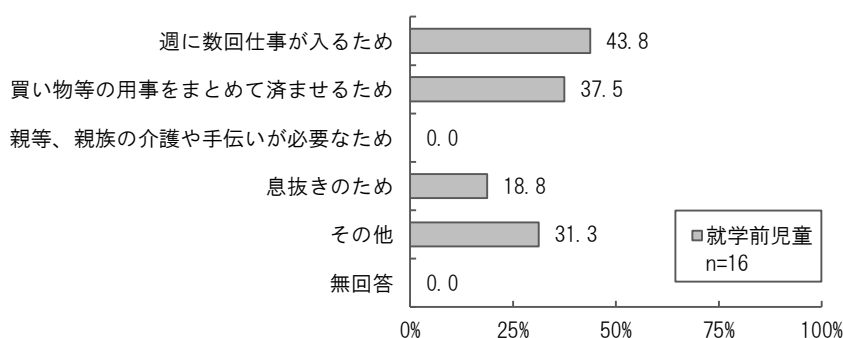
○長期休暇中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が48.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が32.0%と、8割の方が利用を希望しています。

○利用を希望する時間帯をみると、希望開始時間は「8時台～9時台」、希望終了時間は「16時台～17時台」の割合が高くなっています。



○長期休暇中において「休みの期間中、週に数日利用したい」理由をみると、「週に数回仕事が入るため」（43.8%）が最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（37.5%）、「息抜きのため」（18.8%）となっています。

問22-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由



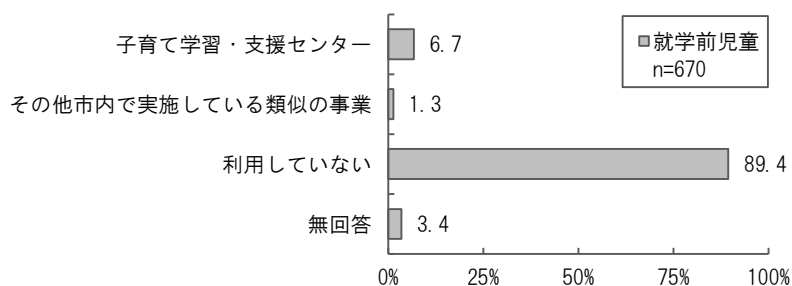
### 3 地域の子育て支援事業の利用状況

#### (1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

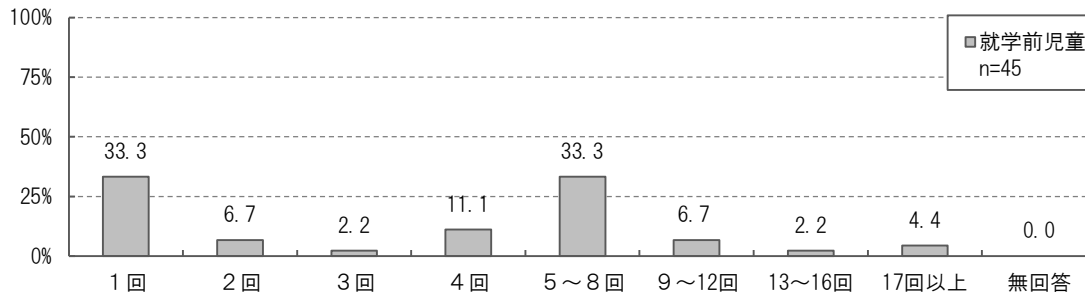
○地域の子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「子育て学習・支援センター」を利用している方は6.7%となっています。

○1ヶ月当たりの利用回数は、子育て学習・支援センター利用者では、「1回」「5～8回」の割合が高くなっています。また、その他市内で実施している類似の事業の利用者では、「1回」「4回」の割合が高くなっています。

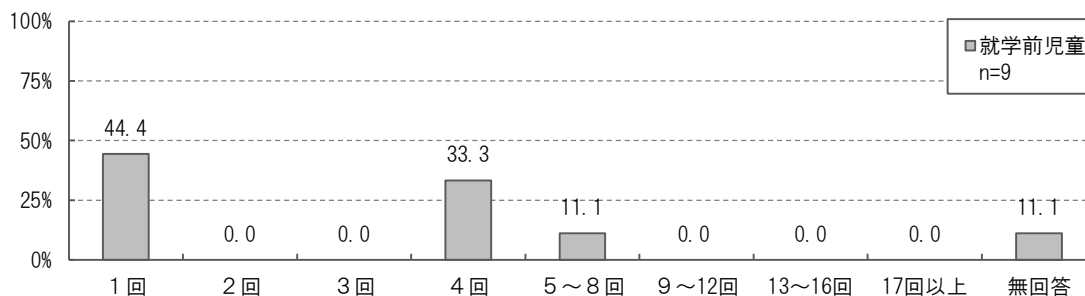
問18 地域子育て支援拠点事業の利用状況



問18.1 子育て学習・支援センターの利用回数（1ヶ月当たり）



問18.1 類似の事業の利用回数（1ヶ月当たり）

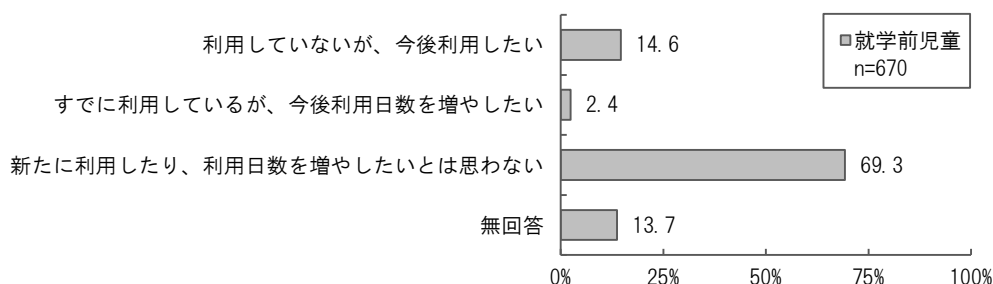


## (2) 今後の利用意向

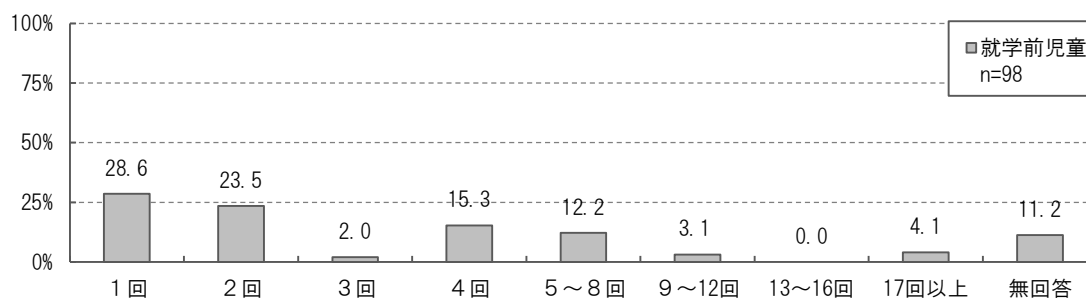
○子育て学習・支援センターの今後の利用意向をみると、「利用していないが今後利用したい」は14.6%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」は2.4%となっています。

○未利用者の1ヶ月あたりの今後の希望利用回数は、「1回」「2回」の割合が高くなっています。また、既利用者が今後増やしたい1ヶ月当たりの利用回数は、「4回」「5～8回」の割合が高くなっています。

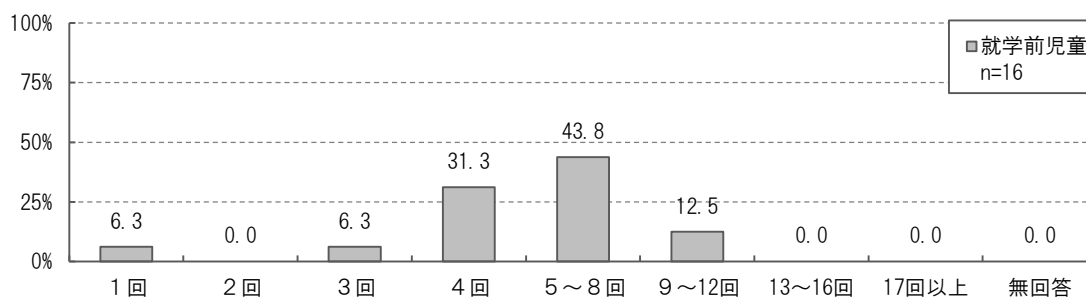
問19 子育て学習・支援センターの今後の利用意向



問19.1 未利用者の今後の希望利用回数（1ヶ月当たり）



問19.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1ヶ月当たり）



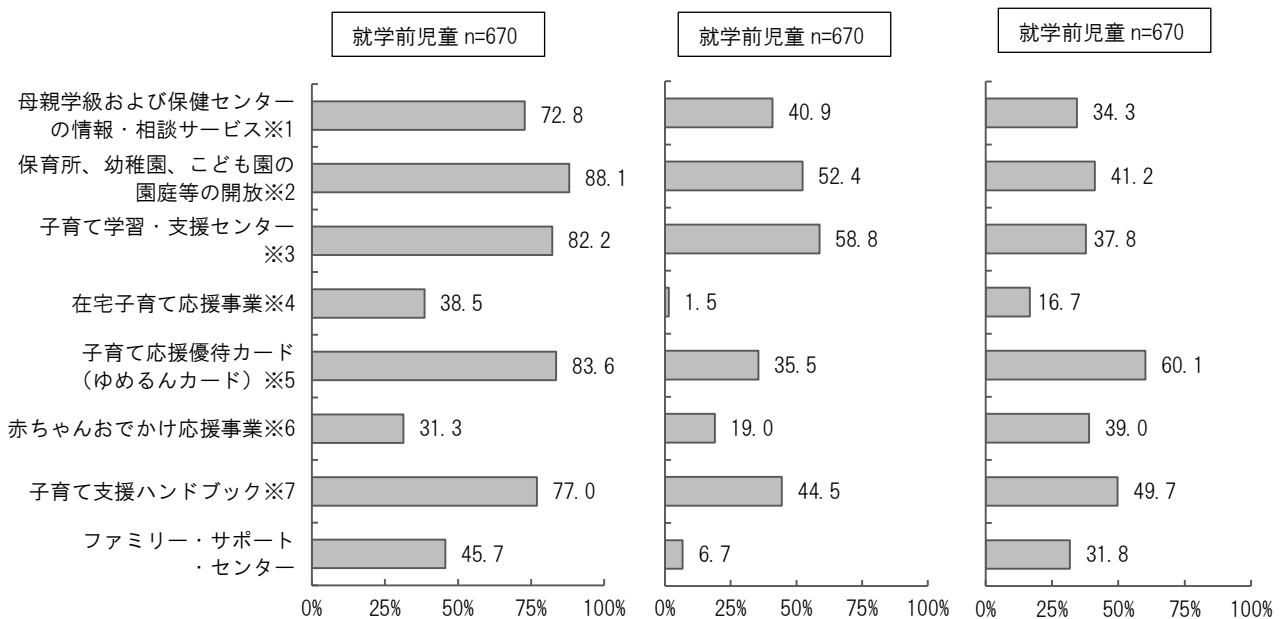
### (3) 子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用意向について

○子育て支援事業の周知度をみると、「保育所、幼稚園、こども園の園庭等の開放」(88.1%)、「子育て応援優待カード(ゆめるんカード)」(83.6%)、「子育て学習・支援センター」(82.2%)が上位となっています。

○周知度が高くて利用が少ない事業は、「子育て応援優待カード(ゆめるんカード)」(35.5%)があげられます。

○ほとんどの事業も今後の利用希望は、3~4割台となっています。なかでも、「子育て応援優待カード(ゆめるんカード)」(60.1%)の利用意向は特に高く、「在宅子育て応援事業」(16.7%)は低くなっています。

問20 A. 子育て支援事業の周知度 B. 利用したことがある C. 今後利用したい



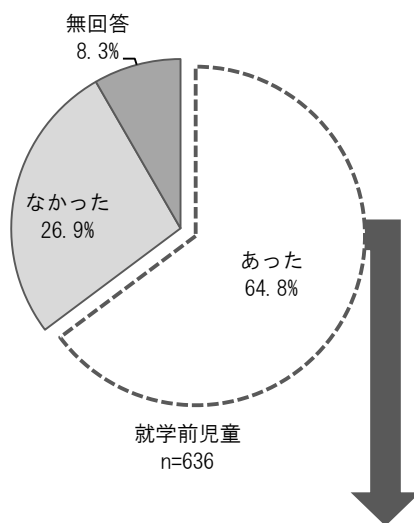
- ※1 母親学級：妊婦歯科健診、ブラッシング指導、栄養指導、沐浴方法、妊娠中の生活や赤ちゃんの育て方について、前期・後期の2回コースで行います。父親も参加できます。
- ※2 園庭開放：未就園児と保護者の方に園庭(保育所、幼稚園、こども園)を開放しています。
- ※3 子育て学習・支援センター：0歳～就学前のお子さんをお持ちの保護者の方が利用できる施設です。安心して心豊かに子育てが楽しめるよう、子育ての交流の場の提供、子育て相談や子育てサークル、ボランティアの育成などを行います。
- ※4 在宅子育て応援事業：保育所・幼稚園等に通所していない満3歳・4歳・5歳(4月1日現在)の子どもを家庭で保育している保護者を応援するために、月額5,000円を助成しています。
- ※5 子育て支援優待カード：18歳未満の子ども1人以上養育している家庭に発行しています。市内協賛店にカードを提示すると、様々な特典を受けることができます。
- ※6 赤ちゃんおでかけ応援事業：0歳児・新生児の保護者の方にオムツ替えタオルを配布しています。また、市内の公共施設等にベビーシート等を設置し、親子でお出かけしやすい環境づくりをしています。
- ※7 子育て支援ハンドブック：南あわじ市の子育てに関する情報・サービス・問い合わせ先を1冊にまとめた冊子です。市役所庁舎や各市民交流センター、図書館などの公共施設や市内ショッピングセンター等に設置しています。

## 4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

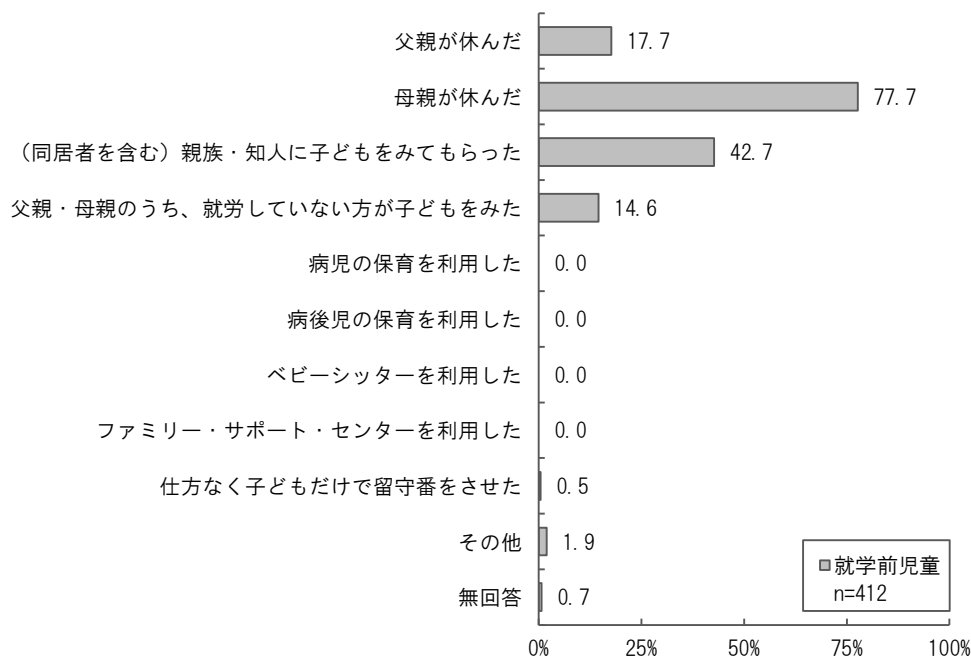
### (1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処について

- 病気やケガで、保育所や幼稚園が利用できなかったことが、「あった」は64.8%となっています。
- その際の対処方法をみると、「母親が休んだ」(77.7%)の割合が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(42.7%)、「父親が休んだ」(17.7%)となっています。

問23 病気やケガで、保育所や幼稚園が利用できなかったことの有無

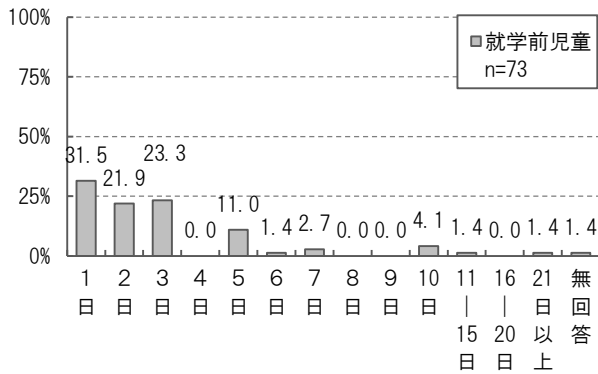


問23-1 この1年間の対処方法

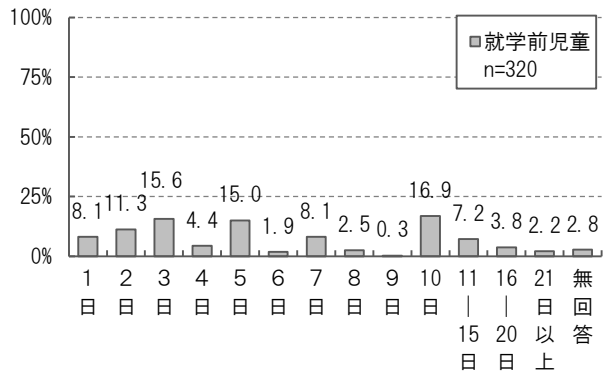


- 対処方法別にこの1年間の対処日数をみると、『父親が休んだ日数』は3日以内（「1日」（31.5%）＋「3日」（23.3%）＋「2日」（21.9%））が7割以上を占めています。
- 『母親が休んだ日数』は「10日」（16.9%）、「3日」（15.6%）、「5日」（15.0%）等と日数にばらつきがありますが、父親より長く休む割合が高くなっています。
- 『（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数』は「1日」（17.0%）、「5日」（15.9%）、「3日」「10日」（各14.8%）、「2日」（14.2%）となっています。
- 『父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数』は「3日」「5日」（各16.7%）、「10日」（15.0%）等となっています。
- 『病児の保育を利用した』『病後児の保育を利用した』『ベビーシッターを利用した』『ファミリー・サポート・センターを利用した』は回答がありませんでした。

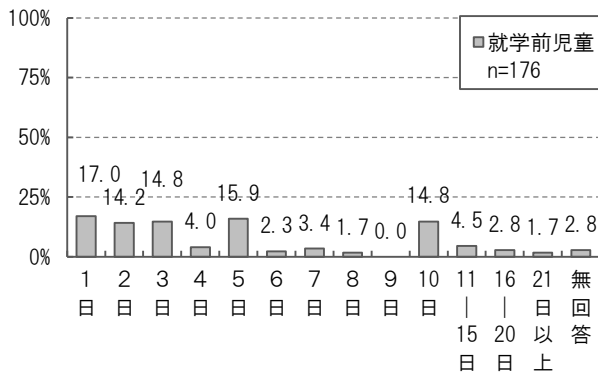
問23-1.1 父親が休んだ日数（年間）



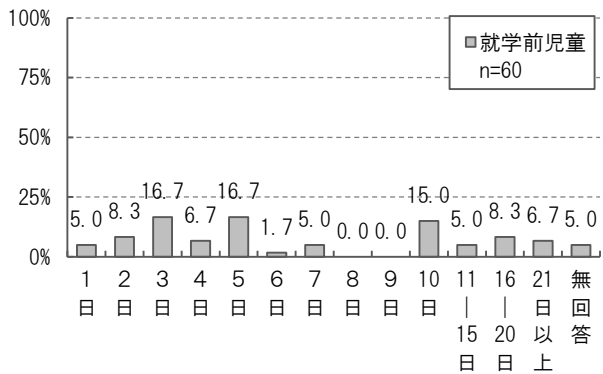
問23-1.2 母親が休んだ日数（年間）



問23-1.3 （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数（年間）

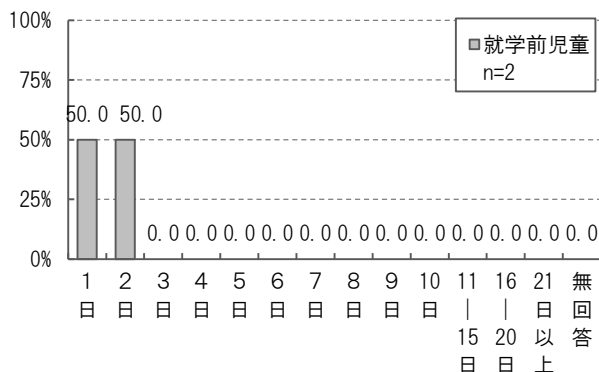


問23-1.4 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数（年間）

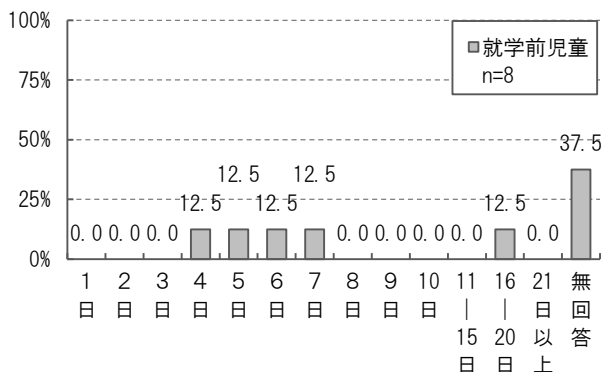




問23-1.9 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数（年間）



問23-1.10 その他の日数（年間）

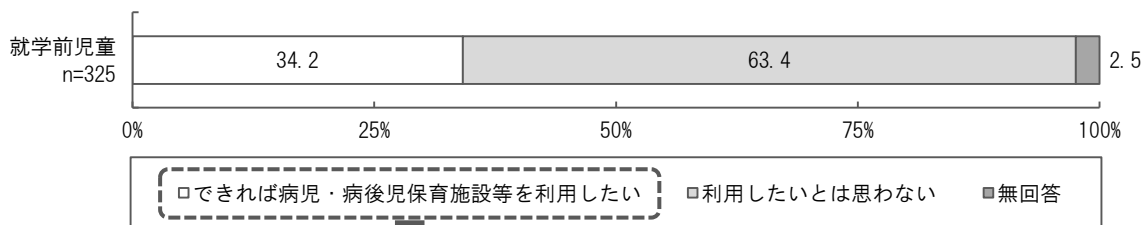


※『病児の保育を利用した』『病後児の保育を利用した』『ベビーシッターを利用した』『ファミリー・サポート・センターを利用した』は回答がなかったため、グラフを省略しました。

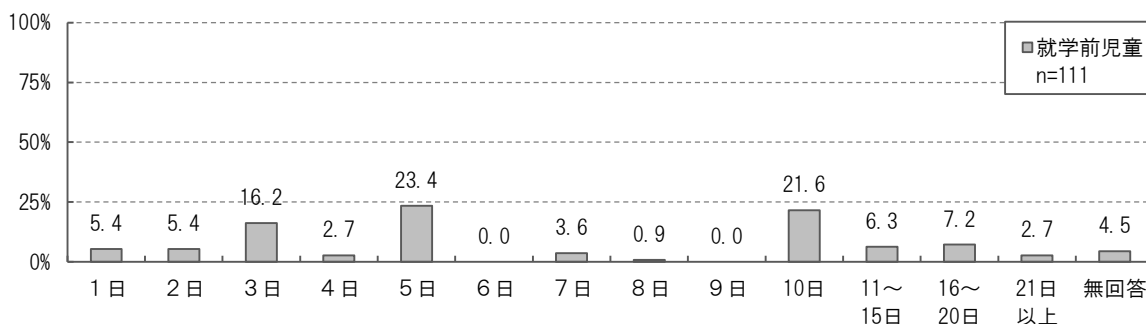
○父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が34.2%となっています。

○その際の年間希望利用日数は、「5日」(23.4%)、「10日」(21.6%)、「3日」(16.2%)となっています。

問23-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向



問23-2.2 病児・病後児保育施設の希望利用日数（年間）

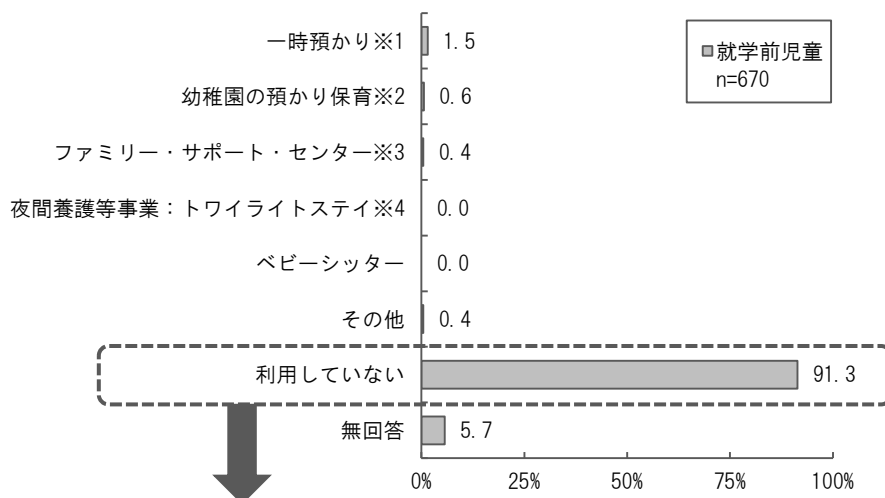


## 5 不定期の一時保育の利用について

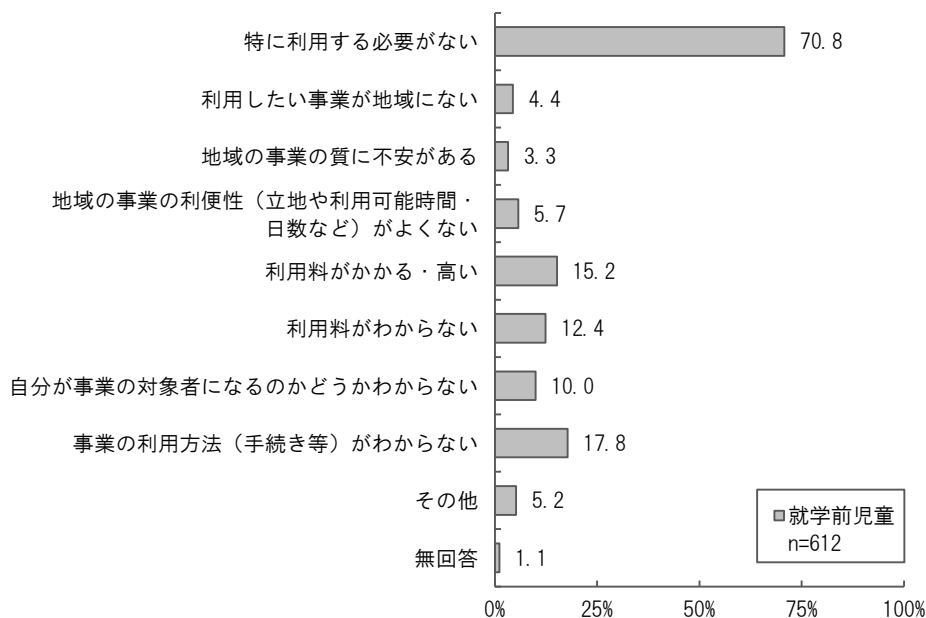
### (1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況

- 不定期に利用している教育・保育事業の状況をみると、「一時預かり」(1.5%)、「幼稚園の預かり保育」(0.6%)をはじめ、あまり利用がない状況です。
- 「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」が約7割を占めています。また、それ以外の理由としては、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(17.8%)、「利用料がかかる・高い」(15.2%)をあげています。

問24 不定期に利用している一時預かり事業



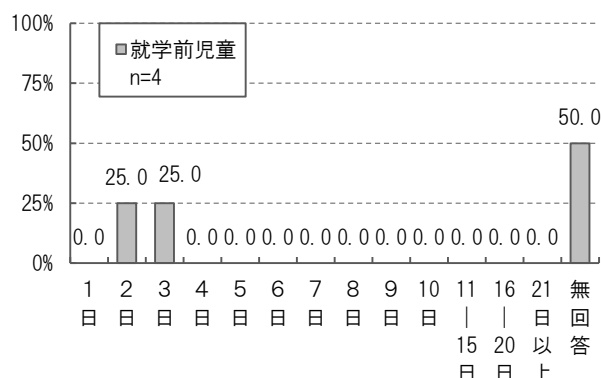
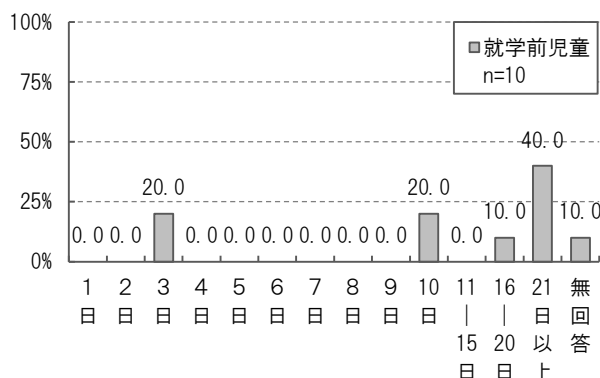
問24-1 現在利用していない理由



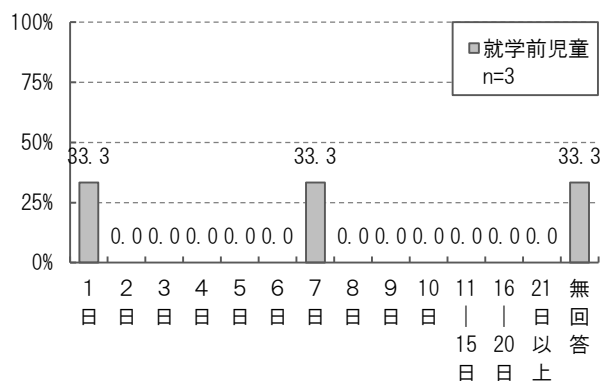
- ※1 一時預かり:私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業
- ※2 幼稚園の預かり保育:通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
- ※3 ファミリー・サポート・センター:地域住民が子どもを預かる事業
- ※4 夜間養護等事業(トワイライトステイ):児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

○事業別の年間利用日数は以下のとおりです。

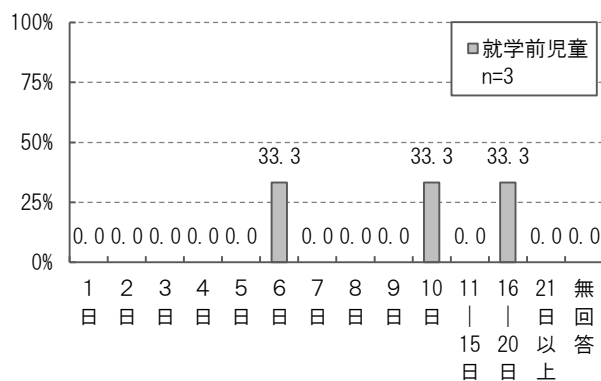
問24.1 「一時預かり」利用日数（年間） 問24.2 「幼稚園の預かり保育」利用日数（年間）



問24.3 「ファミリー・サポート・センター事業」利用日数（年間）



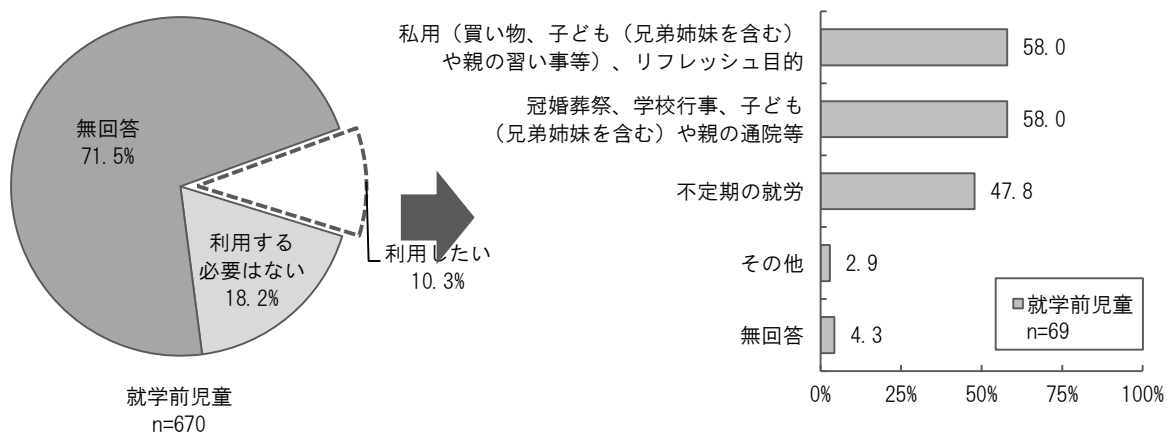
問24.6 「その他」利用日数（年間）



※『夜間養護等事業』『ベビーシッター』は回答がなかったため、グラフを省略しました。

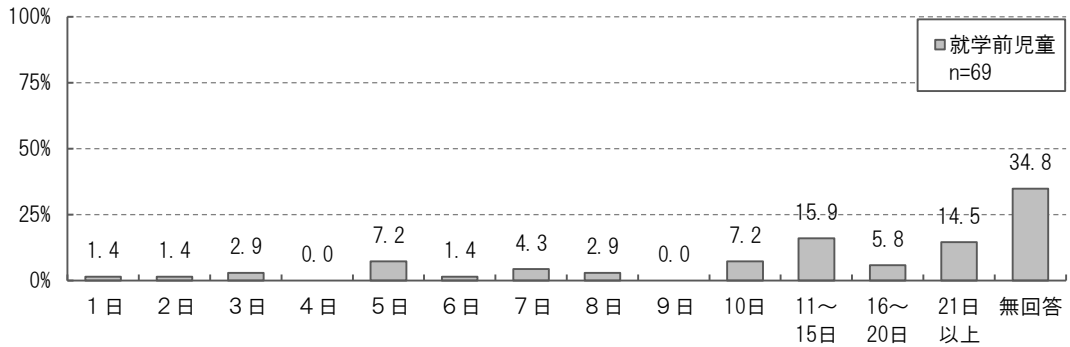
○一時保育事業の利用希望をみると、「利用したい」は10.3%、「利用する必要はない」は18.2%となっています。「利用したい」と回答した方の利用目的は、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（各58.0%）、「不定期の就労」（47.8%）となっています。

問25 一時保育事業の利用希望とその目的



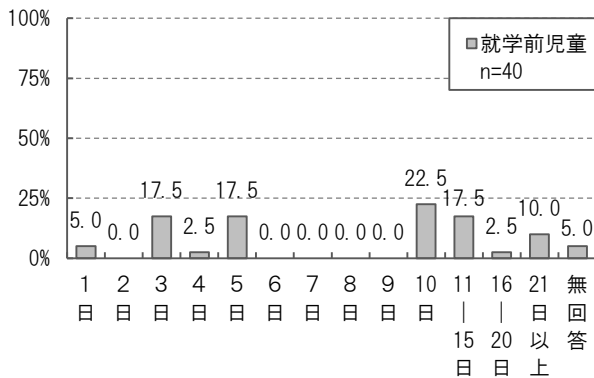
○希望利用年間合計日数は、「11～15日」（15.9％）の割合が最も高くなっています。

問25.1 一時保育事業の希望利用日数（年間）

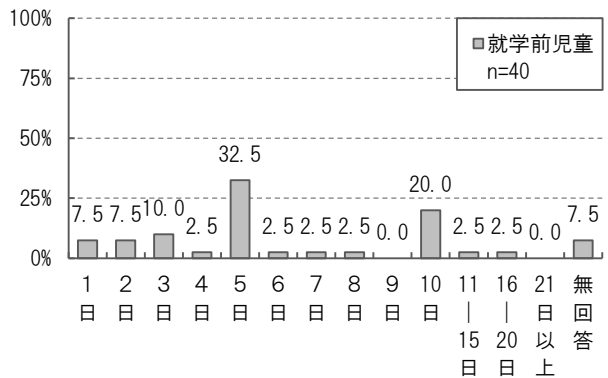


○目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』では「10日」（22.5％）、「3日」「5日」「11—15日」（各17.5％）、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では「5日」（32.5％）、『不定期の就労』では「10日」（24.2％）の割合が高くなっています。

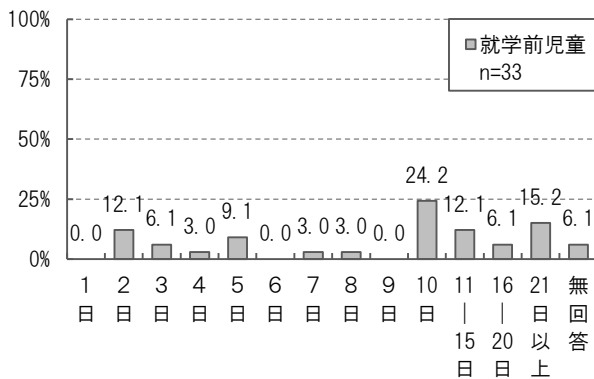
問25.1① 私用、リフレッシュ目的（年間）



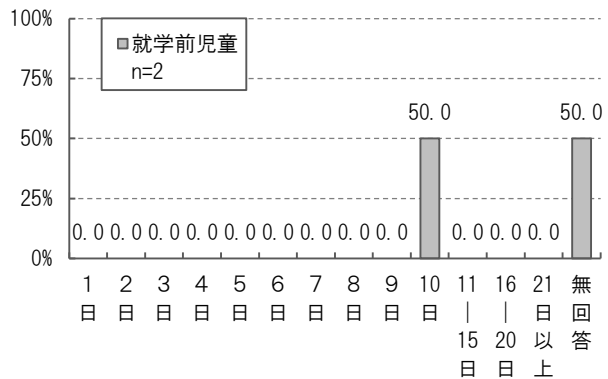
問25.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等（年間）



問25.1③ 不定期の就労（年間）



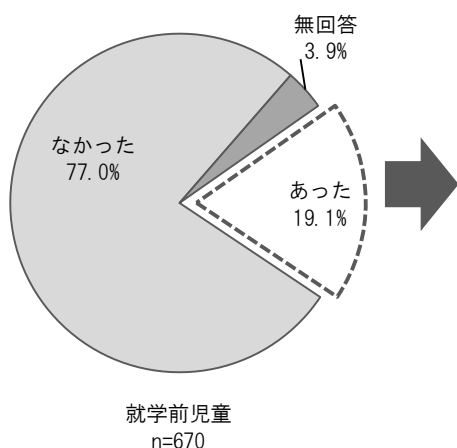
問25.1④ その他（年間）



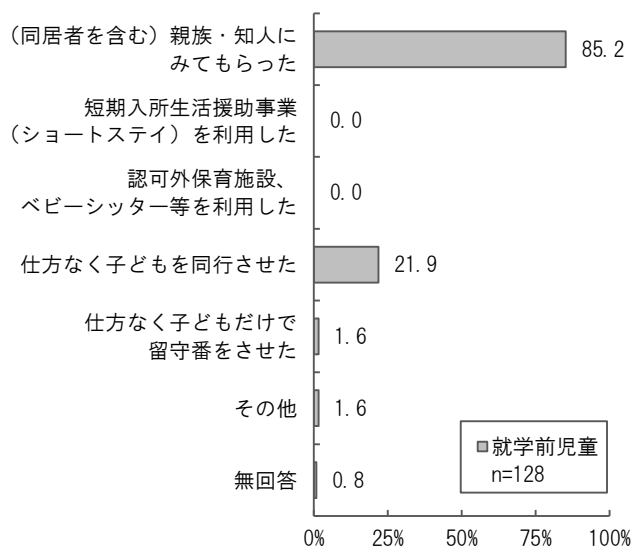
## (2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

○この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけでみてもらったことが、「あった」と回答した方は19.1%となっています。そのうち9割近くの方は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答していますが、「仕方なく子どもを同行させた」と回答した方も21.9%いました。

問26 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



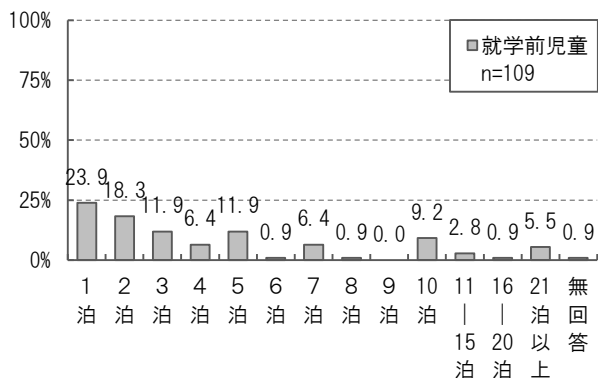
問26.1 この1年間の対処方法



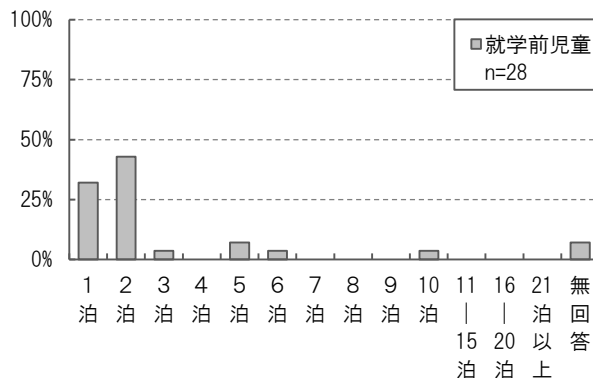
※短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

○対処方法別に年間宿泊数を見ると、『(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった』では「1泊」(23.9%)、「2泊」(18.3%)の割合が高くなっています。

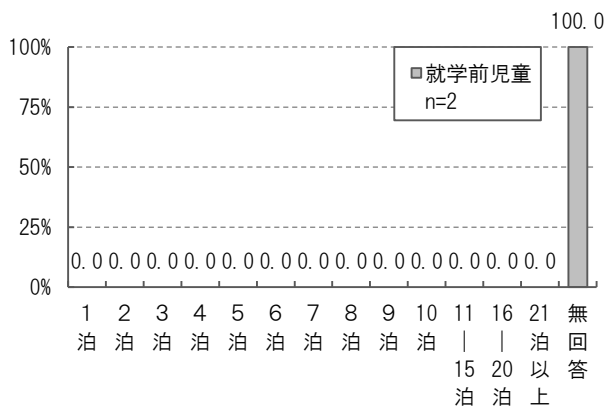
問26.1① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった(年間)



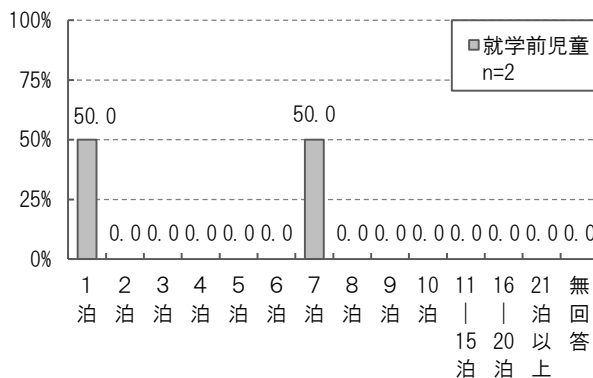
問26.1④ 仕方なく子どもを同行させた(年間)



問26.1⑤ 子どもだけで留守番をさせた(年間)



問26.1⑥ その他(年間)



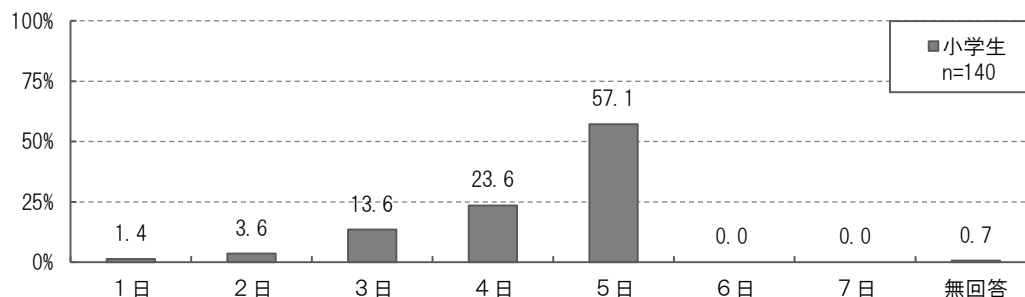
※『短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した』『短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した』は回答がなかったため、グラフを省略しました。

## 6 放課後の過ごし方について

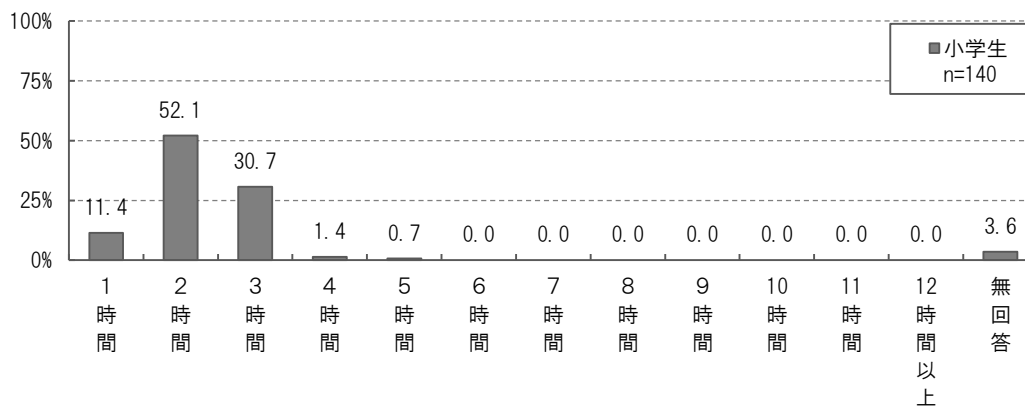
### (1) 平日の放課後の過ごし方について

○放課後児童クラブ（学童保育）の平日利用日数をみると、「5日」（57.1％）の割合が最も高くなっています。利用時間では、「2時間」（52.1％）の割合が最も高く、次いで「3時間」（30.7％）、「1時間」（11.4％）となっています。

[問12] 平日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数（1週当たり）

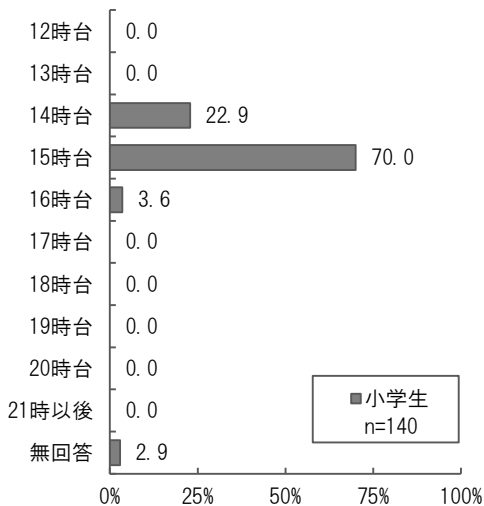


[問12] 平日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用時間（1日当たり）

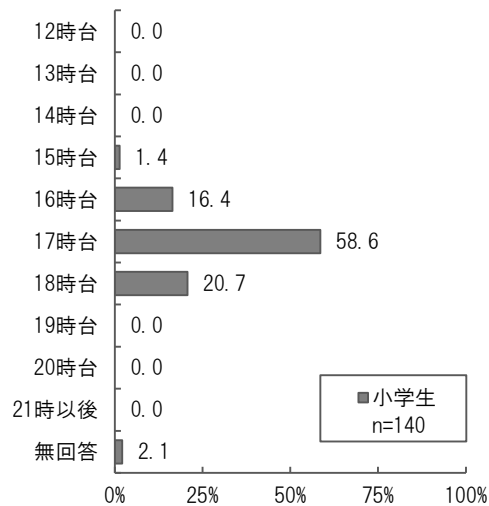


- 利用開始時間は「15時台」（70.0％）の割合が最も高く、利用終了時間は「17時台」（58.6％）の割合が高くなっています。
- 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由をみると、ほとんどが「保護者が働いている」（99.3％）を理由に挙げています。

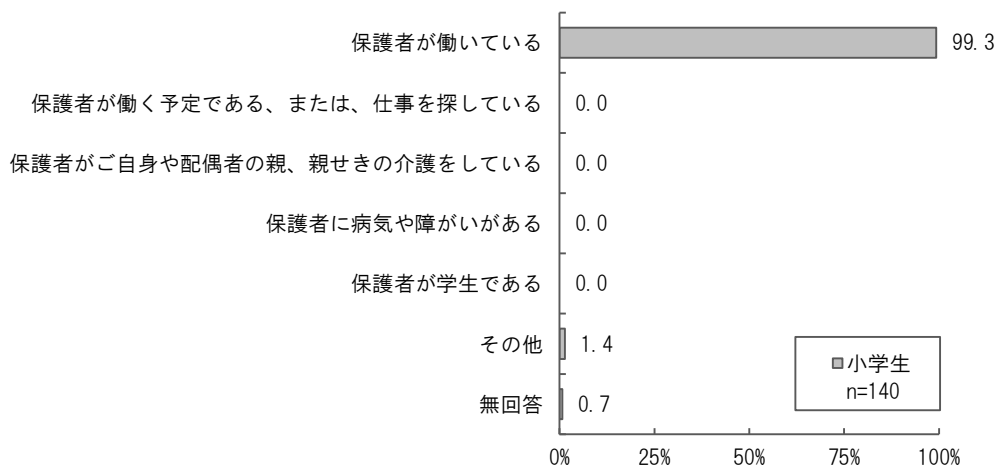
[問12] 利用開始時間



[問12] 利用終了時間



[問13] 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由



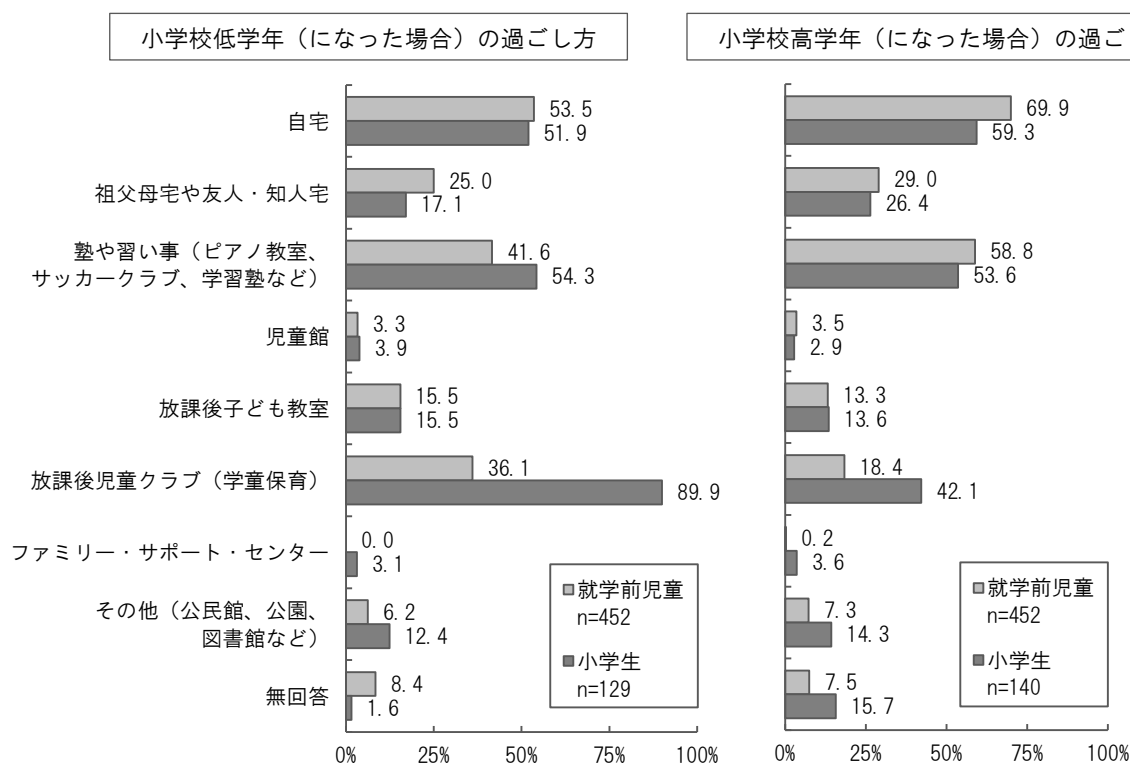


## (2) 平日の放課後の過ごし方の希望

○放課後の過ごし方の希望をみると、就学前児童では低学年のうち「自宅」(53.5%)、「塾や習い事」(41.6%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(36.1%)の希望割合が高くなっています。高学年では、「放課後児童クラブ」(18.4%)が17.7<sup>ポイント</sup>減少する一方で、「自宅」(69.9%)が16.4<sup>ポイント</sup>、「塾や習い事」(58.8%)が17.2<sup>ポイント</sup>増加しています。

○小学生では低学年のうち「放課後児童クラブ」(89.9%)、「塾や習い事」(54.3%)、「自宅」(51.9%)の希望割合が高くなっています。高学年になると、「放課後児童クラブ(学童保育)」(42.1%)が47.8<sup>ポイント</sup>、「塾や習い事」(53.6%)が0.7<sup>ポイント</sup>減少する一方で、「自宅」(59.3%)が7.4<sup>ポイント</sup>増加しています。

問27[問14]・問28[問15] 放課後の過ごし方の希望

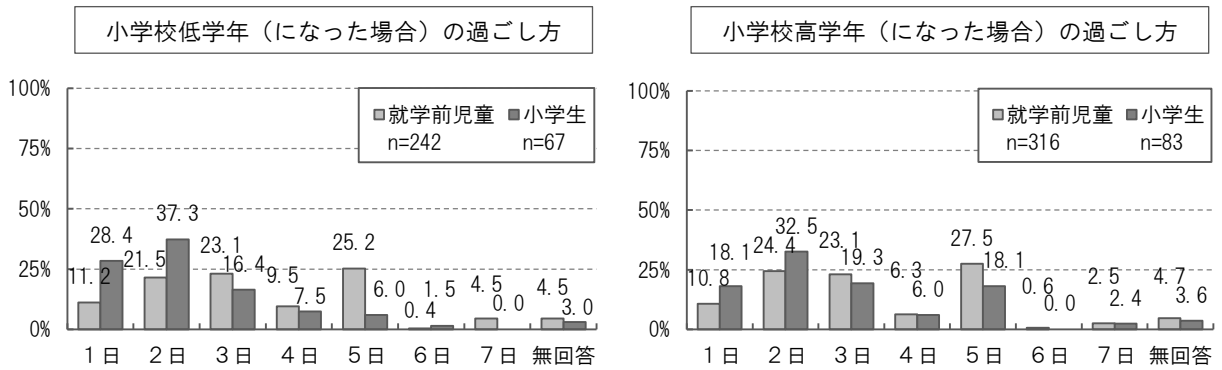


※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。

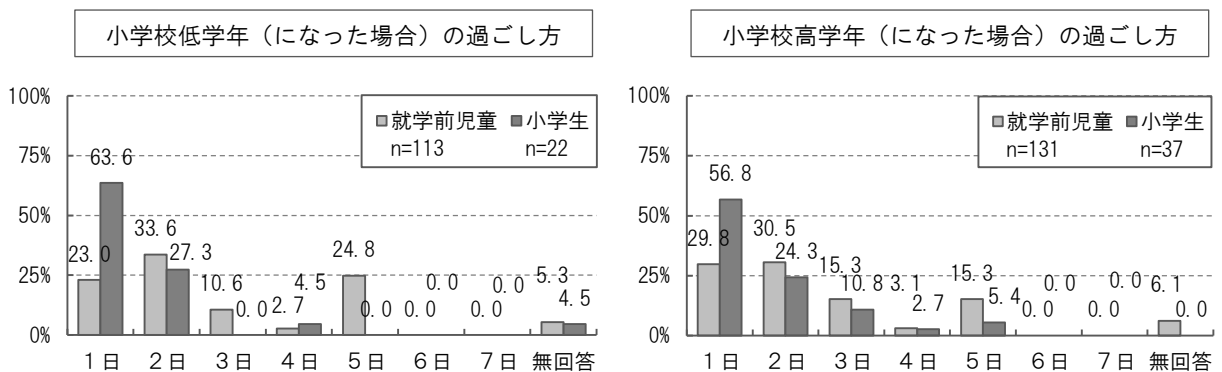
○就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい場所別に、1週当たりの希望日数をみると、『自宅』では「5日」（低学年時期25.2%・高学年時期27.5%）、『祖父母宅や友人・知人宅』では「2日」（低学年時期33.6%・高学年時期30.5%）、『塾や習い事』では「2日」（低学年時期43.1%・高学年時期45.9%）の割合が最も高くなっています。『放課後子ども教室』では、低学年時期は「2日」（47.1%）、高学年時期は「1日」（50.0%）の割合が最も高く、『放課後児童クラブ（学童保育）』では「5日」（低学年時期60.1%・高学年時期39.8%）の割合が最も高くなっています。

○小学生の保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、『自宅』では「2日」（低学年時期37.3%・高学年時期32.5%）、『祖父母宅や友人・知人宅』では「1日」（低学年時期63.6%・高学年時期56.8%）、の割合が最も高くなっています。『塾や習い事』では「2日」（低学年時期51.4%・高学年時期48.0%）の割合が最も高くなっています。『放課後子ども教室』では、「1日」（低学年時期50.0%・高学年時期47.4%）、『放課後児童クラブ（学童保育）』では「5日」（低学年時期31.0%・高学年時期32.2%）の割合が最も高くなっています。

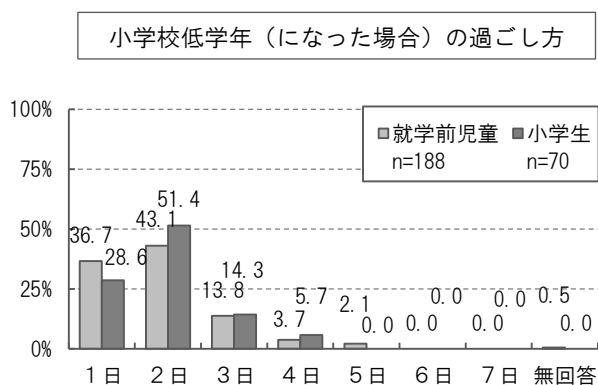
問27.1[問14.1]・問28.1[問15.1] 「自宅」希望日数（1週当たり）



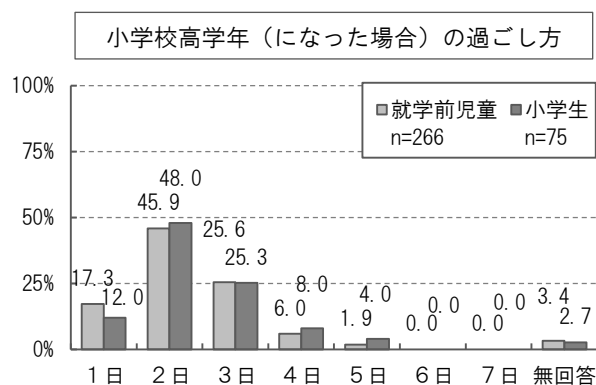
問27.2[問14.2]・問28.2[問15.2] 「祖父母宅や友人・知人宅」希望日数（1週当たり）



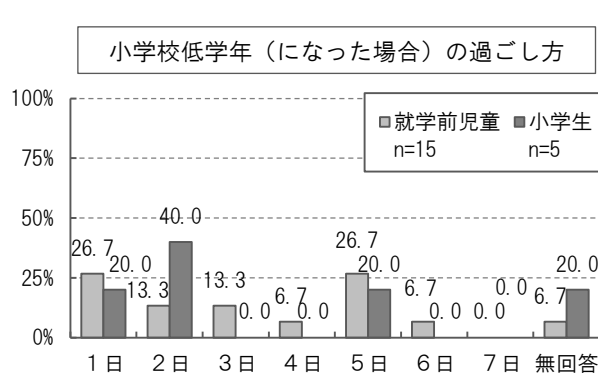
問27.3[問14.3]・問28.3[問15.3]



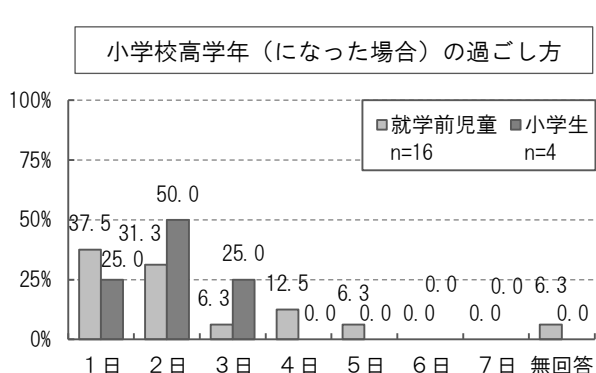
「塾や習い事」希望日数（1週当たり）



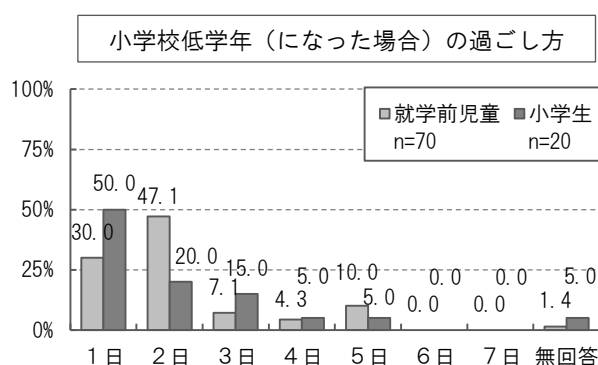
問27.4[問14.4]・問28.4[問15.4]



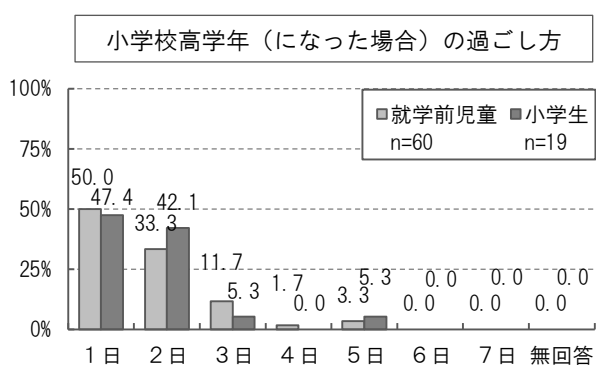
「児童館」希望日数（1週当たり）



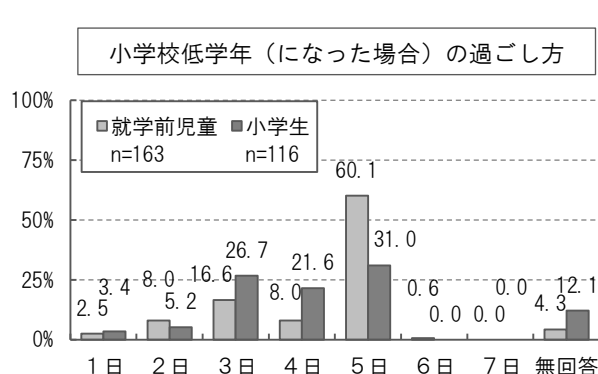
問27.5[問14.5]・問28.5[問15.5]



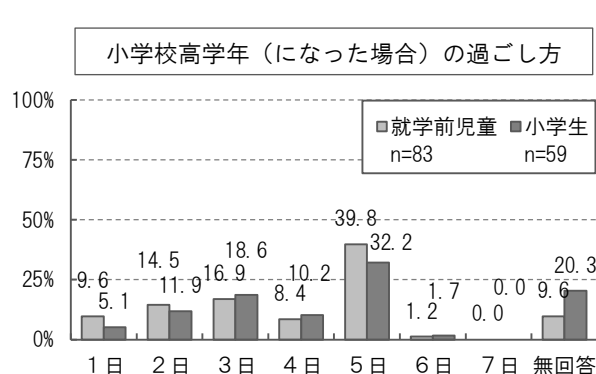
「放課後子ども教室」希望日数（1週当たり）



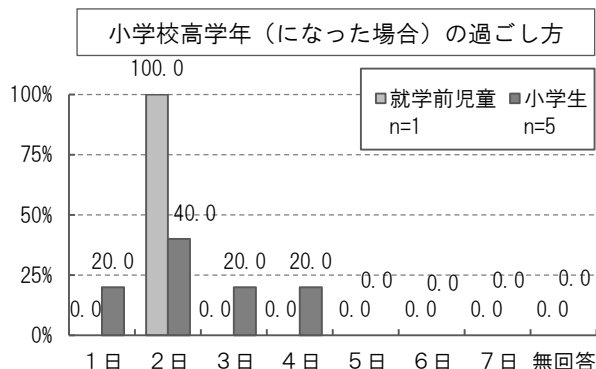
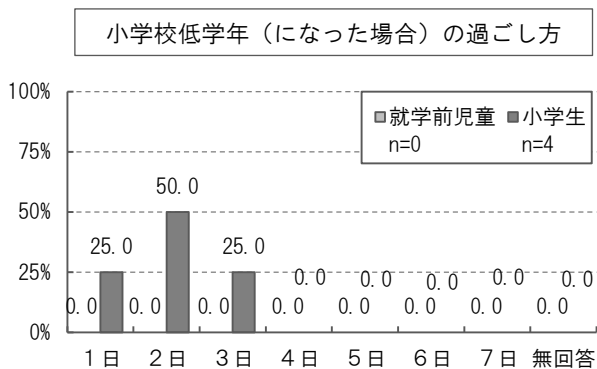
問27.6[問14.6]・問28.6[問15.6]



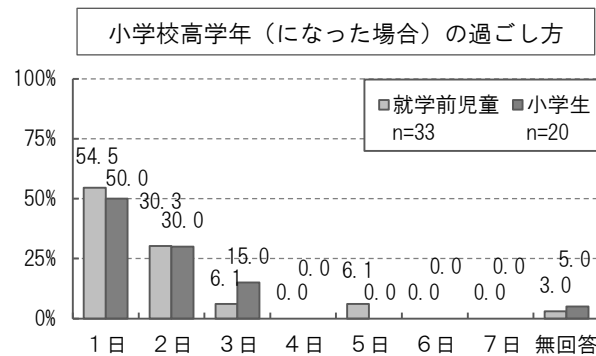
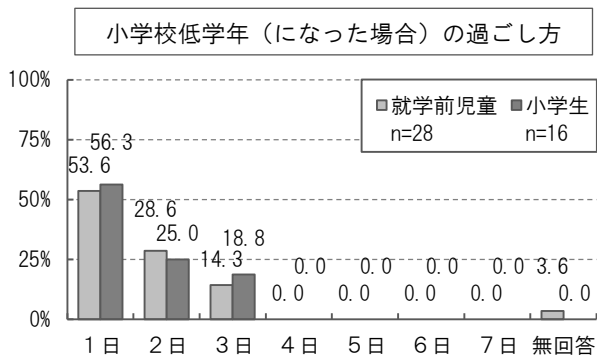
「放課後児童クラブ（学童保育）」希望日数（1週当たり）



問27.7[問14.7]・問28.7[問15.7] 「ファミリー・サポート・センター」希望日数（1週当たり）

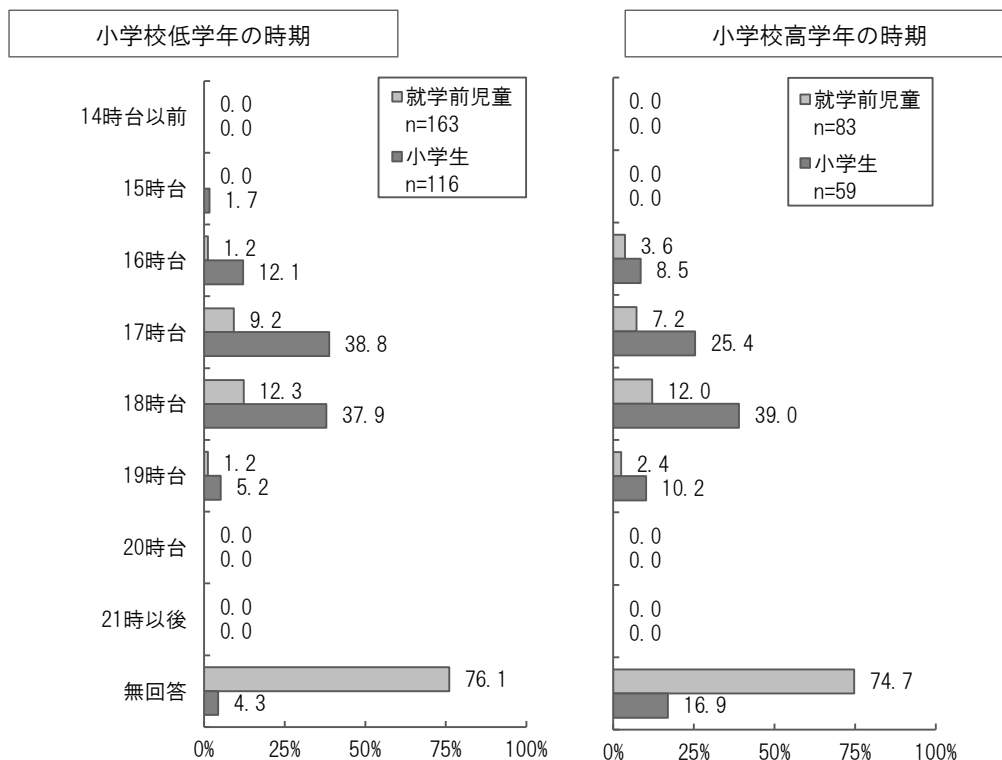


問27.8[問14.8]・問28.8[問15.8] 「その他（公民館、公園など）」希望日数（1週当たり）



○「放課後児童クラブ（学童保育）」の下校時からの希望利用時間帯をみると、就学前児童では「18時台」まで（低学年時期12.3%・高学年時期12.0%）の割合が最も高くなっています。小学生では、低学年時期は「17時台」まで（38.8%）、高学年時期は「18時台」まで（39.0%）の割合が最も高くなっています。

問27.6[問14.6]・問28.6[問15.6] 「放課後児童クラブ（学童保育）」下校時からの利用希望時間

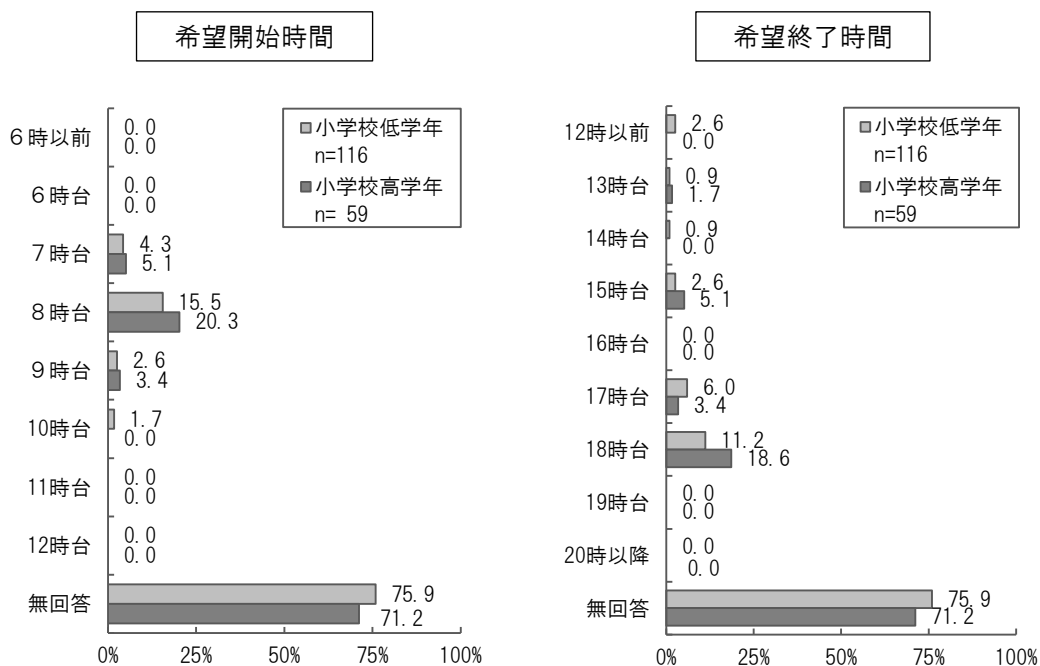


### (3) 土曜日、日曜・長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

○放課後児童クラブの土曜日の利用希望をみると、希望開始時間は、就学前児童・小学生ともに「8時台」(15.5%・20.3%)の割合が最も高くなっています。

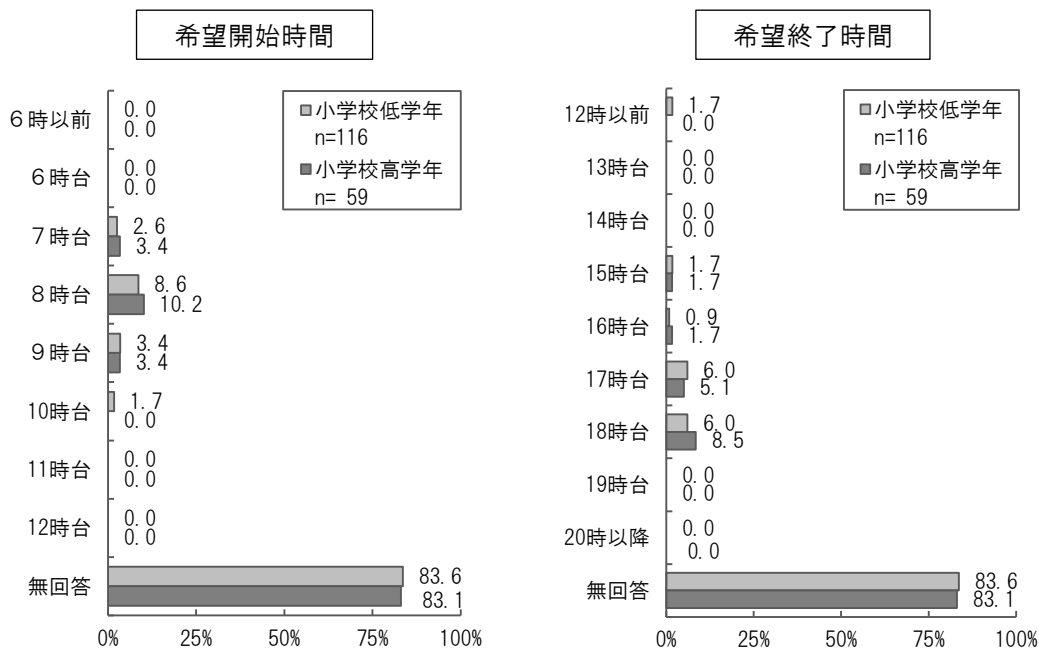
○希望終了時間は、就学前児童・小学生ともに「18時台」(11.2%・18.6%)の割合が最も高くなっています。

[問14.6]・[問15.6] 放課後児童クラブ(土曜日)の利用希望



- 放課後児童クラブの日曜・祝日の利用希望をみると、希望開始時間は就学前児童・小学生ともに「8時台」（8.6%・10.2%）の割合が最も高くなっています。
- 希望終了時間は、就学前児童では「17時台」「18時台」（各6.0%）、小学生では「18時台」（8.5%）の割合が最も高くなっています。

[問14.6]・[問15.6] 放課後児童クラブ（日曜・祝日）の利用希望



- 放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望をみると、希望開始時間は、就学前児童・小学生ともに「8時台」（44.8%・47.5%）の割合が最も高くなっています。
- 希望終了時間は、就学前児童では「17時台」（31.0%）、小学生では「17時台」「18時台」（各30.5%）の割合が最も高くなっています。

[問14.6]・[問15.6] 放課後児童クラブ（長期休暇期間中）の利用希望

